

日本看護歴史学会 会報

日本看護
歴史学会
第75号
2021年1月15日

理事長挨拶

日本看護歴史学会理事長 丸山マサ美



丸山マサ美 理事長

2020（令和2）年、Celebrating Florence Nightingale's bicentenaryの年、日本看護歴史学会は、34年目を迎えました。この度、12期理事会にて、理事長を拝命いたしました。私は、2007（平成19）年、「歴史の中に生きる看護の心(ethos)」をテーマと掲げ、九州大学医学部百年講堂にて、第22回学術集会を開催させていただきました。以後10年間、理事を拝命し、一貫して本学会の発展に微力ながら尽力して参りました。11期理事会では、副理事長を仰せつかり、今期理事会では、いよいよ理事長となり、責任の重さを認識しております。この十年を振り返りますと、日本の看護の歴史を築いてこられた重鎮の尊い“語り”と共に、“歴史研究”を新たに学びたい方へ会員構成がシフトしています。その知的要望を満たすのが、本学術団体でございます。今、ここでの“尊い語り（narrative）”は、日本の看護歴史の軌跡と言っても過言ではなく、『貴重資料(publish)』として保存していく事は、本学会の重要な任務であると考えます。

この度、理事長を拝命し、その意味でも、これからの本学会の果たすべき役割を深く考える時期にあり、誠に僭越ながら、以下の2点を学会運営における新たな取組みとして考えてみました。一番目は、本学会の学術交流“narrative（語り）”の場に世代を

重ね学ぶ事。また、二番目は、現在の本学会員の『扉』を歴史研究に興味・関心をもつ研究者にも開く事。私の専門は、バイオエシックスです。バイオエシックスは、超学際的（Supra-interdisciplinary）なスタンスを持ち、ここ数十年で、広く日本の教育に受け入れられてきた歴史を持つ学問です。看護歴史研究・教育においても、そのような新たなスタンスを持つ“挑戦”が必要なのではないでしょうか。九州大学では、人文科学府、比較社会文化研究院、地球社会統合科学府等、資料研究に着手する新進気鋭の研究学徒が、日々研鑽を積んでいます。歴史研究専門家には、お叱りを受けるかもしれませんが、若手の新たな角度からの“看護歴史資料”の発掘や“研究手法”の“開発も、看護歴史研究の発展の為には、必要な“挑戦”です。多くの新会員が、本学会の『扉』を叩いてくださる事を期待しています。

ところで、会津若松に生まれた“大山捨松”は、日本の華族・教育者であり、愛国婦人会理事・赤十字看護会理事として看護師教育を発展させましたが、その兄である“山川健次郎”は、九州大学の初代総長です。現在、本学基金支援助成事業では、“山川賞”を設け、学生の純粋な探究心を応援しています。世代・時代・領域の垣根を超えた学術交流の中にこそ、本学会の未来が広がるのではないかと（個人的には）考える今日この頃でございます。

この度の理事長就任は、コロナ禍に始まりました。“安全性”を考慮した学術集会開催、学術団体運営は、当分の間、最重要課題です。より良い学術団体の運営のあり方をご提案しつつ、本学会の発展の為に、鋭意努力する所存でございます。ご指導をお願い申し上げます。

第35回日本看護歴史学会学術集会のご案内

看護高等教育の源流を探る

一過去をとらえ未来へつなぐ看護史・自校史の仕事一

会 期：2021年8月28日（土）・8月29日（日）

会 場：聖路加国際大学

会 長：渡部 尚子（聖路加国際大学 名誉教授）



渡部尚子学術集会会長

2020年は、新型コロナウイルスの出現により社会は過去に例を見ない影響を受けました。この未曾有の困難な中、第34回日本看護歴史学会学術集会を準備し誌上という形で学会開催を実現してくださいました金井一薫会長はじめ関係者の皆様に心から敬意を表し感謝申し上げます。

さて、2021年度第35回学術集会を担当します私たちも初めての経験を重ね、どのように開催できるのか検討を続けているところですが、皆さんの活発なご発表と意見交換を心より願って準備を進めています。

今回のメインテーマは「看護高等教育の源流をさぐる一過去をとらえ未来につなぐ看護史・自校史一」です。看護の高等教育はおよそ100年前に聖路加女子専門学校がその端緒を開きました。多くの女子が小学校卒業で学業を終える時代に、入学資格を高等女学校卒としたのです。大学開設第一号は、1952年高知女子大学家政学部看護学科でした。続いて翌年、東京大学医学部衛生看護学科で、それからの30余年の間に開設された看護系の大学はわずか10校、そして1990年代半ばから現在の300近い看護系大学が一気に開設されました。

看護高等教育の拡充は、設置大学の増加とともに教育・研究の高度化を支える大学院の開設

も必須でした。その道のりは、看護職能団体・看護系大学団体の地道な支援・推進の活動により進められました。この内容については、両方の立場を経験された神戸市看護大学・南裕子学長にご講演をお願いしています。

歴史は、普段身近に感じることは少ないでしょう。特に看護系の大学では、学部や学科の設置の多様さ、開設もない大学が多いこと、教員の流動性が高いことなどから、歴史を遺すことに意識が至りにくいのではないかと思います。こうしたアーカイブズ活動と学生に伝えていく自校史教育の出発点を、立教学院展示館・豊田雅幸学芸員がご講演くださいます。この二つのテーマは交流セッションにおいても取り上げ、事例をご提供いただいて、語り合う予定です。

さらに、特別講演は、渋沢史料館・井上潤館長に日本の経済活動を近代化したことで知られる渋沢栄一についてお話しくださる様お願いしています。新一万円札の肖像、2021年大河ドラマ主人公として関心がある方も多いと思います。渋沢栄一は、聖路加国際病院の評議員を務めるなど、福祉や教育の分野にも多くの支援・足跡を残しています。

新しい道を切り開いてきた方々に学び、この歴史を、今日、看護高等教育の恩恵を受けている人々に伝え、次なる発展を考える機会としていただけたらと思います。

会場開催となりましたら、多くの学校の発祥の地・築地、渋沢栄一にゆかり多い中央区をゆっくりご散策いただけるでしょう。

【プログラム】

8月28日（土）

- | | |
|------|---|
| 会長講演 | （仮題）聖路加国際大学における看護高等教育の挑戦の歴史
渡部 尚子（聖路加国際大学 名誉教授） |
| 教育講演 | （仮題）看護職能団体・看護系大学協議会における看護高等教育への推進と活動ーその歴史と展望ー
南 裕子（神戸市看護大学 学長） |
| 教育講演 | （仮題）大学アーカイブズの可能性
豊田 雅幸（立教学院展示館 学術コーディネーター・学芸員） |

8月29日（日）

- | | |
|------|-----------------------------------|
| 特別講演 | （仮題）渋沢栄一の足跡をたどる
井上 潤（渋沢史料館 館長） |
|------|-----------------------------------|

開催方法について

開催方法については、コロナウイルス感染の動向を注視し、安全を最優先にオンライン開催も検討しています。演題登録および参加登録開始となる2021年3月1日までに開催方法を決定し、学術集会ホームページ<https://jsnh35.net/>でお知らせしますので、ご確認をお願いします。

一般演題登録について

〔登録期間〕

2021年3月1日（月）～6月2日（水）締切

一般演題（口演・示説）

- ・発表は看護の歴史に関する研究とします。
- ・会場開催の場合、口演は発表時間15分、質疑応答5分、示説は発表時間10分、質疑応答5分の予定です。
- ・登録は学術集会ホームページ<https://jsnh35.net/>から行います。
- ・演者は、共同研究者も含めて本学会の会員とします。演題登録に際し、入会を希望される方は、日本看護歴史学会ホームページにアクセスして、登録締切日（2021年6月2日）までに入会申込をお済ませください（2020年度に会員である必要はありません）。

参加登録について

〔参加登録期間〕

2021年3月1日（月）～6月30日（水）

学術集会ホームページ<https://jsnh35.net/entry/>をご確認の上手続きしてください。

事前申込について

■事前申込期間と費用

2021年3月1日（月）～6月30日（水）

参加費	会員	非会員	学生
事前申込	7,000円	8,000円	—
当日受付	8,000円	9,000円	2,000円

※オンライン開催の場合、事前申込のみ。

- 会場開催の場合、懇親会については安全を最優先に開催の可否を決定します。
- 会場開催の場合、昼食の手配はありません。近隣の飲食店・コンビニエンスストア等をご利用ください。

参加費のお支払いについて

- ・事前申込の入金締切は7月7日（水）17:00とします。銀行口座振込の予定です。
- ・参加登録は、入金を確認をもって完了とします。入金後の返金はできません。

会場開催の場合：交通アクセス

●JR東京駅からの場合

- ・八重洲口から都営バス[東15系統 深川車庫前行]に乗り、聖路加病院前下車（平常運行時は所要時間約15分）
- ・東京メトロ丸の内線に乗り、銀座駅にて日比谷線に乗り換え、築地駅下車

●羽田空港からの場合

- ・京浜急行空港線に乗り、東銀座駅にて東京メトロ日比谷線に乗り換え、築地駅下車

●東京メトロ（地下鉄）をご利用の場合

- ・東京メトロ日比谷線築地駅下車
- ・東京メトロ有楽町線新富町駅下車



第35回日本看護歴史学会学術集会事務局

〒104-0044 東京都中央区明石町10-1

聖路加国際大学内

TEL : 03-3543-6391（大学代表）

E-mail : 35jsnh@slcn.ac.jp（学会専用）



1933年 聖路加女子専門学校実習室風景

著書紹介 鈴木 紀子著『看護歴史研究入門』

歴史は無数の出来事の束からなっていて、その中から重要な出来事を選び出し、関連づけ、意味づけて叙述していくのが歴史学であるといわれています。歴史学で論文を書くには、その分野の作法を知っておく必要があります。歴史論文の作法を紹介し、看護歴史研究の手引書として本学理事が執筆した『看護歴史研究入門』が、「看護の歴史ライブラリー」第一巻（看護の科学社）として刊行されました。社会とのつながりの強い看護職には、歴史を学ぶことの必要性和楽しさを知ってもらいたいとの思いも含め、執筆されました。この「看護の歴史ライブラリー」は、看護歴史研究の第一人者方々の執筆で、2ヶ月に1冊の予定で刊行されます。是非、ご一読ください。



A5判/108頁
定価1,650円（税込み）
ISBN：9784878041228

新入会員紹介(敬称略)

*（ ）内は会員番号 2020年7月～12月入会

一戸とも子 (20008)	平出美栄子 (20009)
草場ヒフミ (20010)	原 寛 (20011)
相部久美子 (20012)	大森 弘子 (20013)
荒巻 初子 (20014)	

お知らせ

■事務局から

2020年度会員動向(2020年12月末現在)

1. 会員数 319名
(住所不明者4名)
2. 入会者 7名
3. 退会者 18名※
(うち資格喪失者7名、11月までの承認)

会費納入のお願い

会費滞納による会員資格喪失者の期間が2年間となりました。ご注意下さい。年会費未納の会員の方は、今年度分と共に、同封の払込取扱票にて納入をお願いいたします。その際、必ず、住所・氏名・会員番号のご記入をお願いします。

所属・住所変更や退会手続きについて

ホームページの事務局の「変更・退会届」からダウンロードしていただき、事務局宛に提出してください。

■編集委員会からのお知らせ

2020年より学会誌の投稿受付期間が6月1日から6月30日になりました。

学会誌発行は翌年の2月1日予定です。

編集後記

コロナ渦のなかでの役員交代となりました。国会図書館も入場制限が行われるなど史料収集にも支障が出ています。会員同士交流を深めながら、この難局を乗り越えていきたいと思ひます。
(か)

日本看護歴史学会会報 第75号

企画・編集 川原由佳里(日本赤十字看護大学)
黒田 裕子(大阪府助産師会産後ケアセンター)

発行責任者 丸山マサ美(事務局)

印刷 有限会社 新和印刷

事務局 〒812-8582
福岡市東区馬出 3-1-1
九州大学大学院医学研究院
保健学部門内
事務局 丸山マサ美
TEL & FAX 092-642-6710(直通)
E-mail 2rekishi@med.kyushu-u.ac.jp

学会HP <http://plaza.umin.ac.jp/~jahsn/>